

基本課題5 地域における男女共同参画の促進(課題10)

課題10 各種地域活動における男女共同参画の促進

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課 評価	市民窓口課所見	H22年度の審議会における意見・評価	
20	各種団体への支援と男女共同参画の促進	まちづくりサポート交付金	地域経営課	「まちづくりサポート交付金」による資金面での支援をする。 (総合型地域コミュニティ 交付率: 交付対象経費の3/4以内 限度額120万円・まちづくり団体 交付率: 交付対象経費の1/2以内 限度額30万円) 【工夫するところ】 活動事例などを紹介しながら、まちづくり活動により有効な活動に対して支援をしていく。	平成22年度まちづくりサポート交付金 交付決定状況 交付決定団体 42団体 交付決定額 14,893,000円 《内訳》 総合型地域コミュニティ: 8団体 7,836,000円 まちづくり団体: 34団体 7,057,000円 【評価理由】 新規に活用する団体も多く、この交付金がまちづくり活動を始めるきっかけづくりに役立っていると考えられるため。	【問題点・課題等】 今後、さらに地域のまちづくりに有効な活動を見極め、支援していく必要がある。	A			A
		生涯学習相談	生涯学習課	自治会、PTA、NPO団体、ボランティア団体等からの相談を受け、情報を提供して活動を支援するとともに、男女共同参画を推進していく。	県等から届く各種資料を各施設等へ配布し、情報提供を行った。		B			B
		PTA連合会への支援	子育て支援課	PTA連合会に対して、仕事と家庭の調和について(ワークライフバランス)の情報を積極的に提供することを通して男女共同参画の推進を図る。 【工夫するところ】 単に情報提供するだけでなく、同情報が連合会活動に生かされるよう、共催事業、後援事業についてアドバイスを行う。	計画通り実施	【問題点・課題等】 PTA連合会に対して、引き続き支援を継続する。	A			A

20	各種団体への支援と男女共同参画の促進	ネットワーク三条等との情報交換	市民窓口課	女性団体等の会議などに参加し、情報交換を行う。	ネットワーク三条代表者会議に参加し、意見交換を実施した。 第1回:5月7日 第2回:2月21日		A			A
21	地域の防犯・防災活動への男女共同参画の促進	自主防災組織等の育成・強化	行政課	地域の防災力の強化を図るため、自主防災組織の育成・強化や自治会等が行う防災活動への支援に努めるとともに、女性が組織等の活動に参画するよう自主防災組織の立ち上げや意見交換会、防災訓練時などで説明し、啓発を図る。特に自主防災組織の立ち上げのため、各自治会に出向いて説明する。 【工夫すること】 自主防災組織役員に女性の参画(登用)を要請 【目標値】 自主防災組織登録数の3割(55団体*0.3=16.5≒17団体)	自主防災組織の育成・強化や自治会等が行う防災活動への支援のため、また女性が組織等の活動に参画することについて、6/6栄・下田地区、6/7三条地区の新自治会長を対象に地区説明会を開催し、さらに市内2箇所の自治会で個別説明会を開催した。11月には自主防災リーダー研修会を開催し、地域防災活動の重要性及び女性の組織活動への参画について理解を求めた。また、女性の組織等への参画について調査を行った結果、平成23年3月末現在において市内に58ある自主防災組織のうち、役員として女性が参加している組織は18組織という結果となった。	【評価理由】 目標にしていた数値を超える結果となったため 【問題点・課題等】 今後もさらに、各自主防災組織において、活動の中心となる役員の中に女性が参画するように、引き続き啓発を図る。	A			A
		地域安全マップづくり講習会の開催	環境課	平成21年度で事業が終了したため、平成22年度は実施しない。			—		—	